

淀川水系流域委員会琵琶湖部会一般意見聴取試行の会 企画素案

琵琶湖部会委員有志

「これからの琵琶湖と川とダムを考える若者討論会 2」

開催日時・場所

	開催日時	開催場所
1回目	7月中下旬の土・日	余呉町周辺
2回目	8月中下旬の土・日	大阪市内

趣旨

淀川水系流域委員会では、今後数十年間にわたる琵琶湖淀川流域の河川整備計画を定めるにあたり、住民の皆さまからさまざまな意見をいただけてきました。その結果、多くの方々から意見を寄せていただきましたが、これからの琵琶湖淀川流域の社会を担う次世代の人たちからの意見は大変少ないのが実状です。

その中でも、琵琶湖部会では、琵琶湖の水位の管理方法や丹生ダムの建設、生態系保全や住民参加の方法など、今後長期に亘って影響をおよぼす事業や政策について検討が行われており、21世紀の社会の主役となるべき若い人たちの意見を伺うことは何よりも大切と思います。

特に、今後の琵琶湖淀川流域の管理には、上下流の連携が必要であるとの認識のもと、琵琶湖沿岸部や高時川流域に住む若い人と、大阪や京都など、琵琶湖の水で生活をしている若い人たちに一同に会していただき、今後の琵琶湖の管理やダムのあり方について、自由な意見をお聞かせいただきたいと思います。そして行政に任せきってきたこれまでの川づくりから「住民参加による主体的な川づくり」への変革の糸口をさぐりたいと思います。

進行予定

13:30 - 13:45 趣旨説明

13:45 - 14:45 意見発表（一人15分程度）と質疑（一人5分程度） ... 3人程度

（休憩）

15:00 - 16:00 意見発表（一人15分程度）と質疑（一人5分程度） ... 3人程度

16:00 - 17:00 自由討論（傍聴者も含む）

質疑および討論においては、発言者同士での直接の議論は行わず、委員がそれぞれの発言者に質疑を行う形式を基本とする。

終了後、懇親会を実施

その他

- ・通常の部会と同様に公開とする
- ・琵琶湖部会にて承認をもらい、できるかぎり多くの琵琶湖部会委員に参加を依頼する
- ・他の委員にも参加をよびかける
- ・委員の発言時間は出来る限り短くし、住民がのびのびと意見を言えるようにする

応募の仕方と発言者の選考方法

資格：琵琶湖淀川流域（集水域とあわせて琵琶湖や淀川の水を利用している地域）に居住している若い人（年齢制限はとくに設けておりません）

- ・発言希望者は意見の要旨をA4用紙1枚にまとめて、住所、年齢、所属（もしあれば）連絡先、これまでの経歴や活動経験（もしあれば）をそえて、月 日までに淀川水系流域委員会庶務へファクス、E-メール、郵送のいずれかの方法で提出ください。発言者は、琵琶湖部会委員で決定し、発言予定者にお知らせします。
- ・発言予定者には、提言等の関連資料を送付させていただきます。
- ・発言者の決定にあたっては、
 - （1）琵琶湖淀川水系の現状の理解度は十分か
 - （2）十分に考察を深めた意見であるか
 - （3）発言の趣旨は、本会のテーマに沿っているかという3点から厳正に選考させていただきます。

募集の仕方

- ・流域委員会ホームページ等
- ・府県や各市町村への呼びかけ
- ・委員会に意見を提出した人に呼びかけ
- ・委員会、部会会場での呼びかけ
- ・委員から人づてで呼びかけ
- ・中学校や高校に呼びかけ

スケジュール（1回目を7月中旬に、2回目を8月下旬に開催すると想定した場合）

6/10	琵琶湖部会にて、企画を決定、承認
6/11～12	会場選定、チラシ作成等広報準備
6/13～30	広報、意見発表者募集
7月上旬	琵琶湖部会委員にて、意見発表者を選定。意見発表者への発表依頼等
7月中旬	余呉町にて開催
～8月上旬	引き続き広報、意見発表者募集
～8月中旬	琵琶湖部会委員にて、意見発表者を選定。意見発表者への発表依頼等
8月下旬	大阪市内にて開催